

2024年度後期 開講学科別集計結果表

常葉大学

開講学科	看護学科	履修者数	939
------	------	------	-----

回答者数	272
------	-----

学年 マーク	回答者数／構成比（％）				
	1年	2年	3年	4年	無効回答
	99 36.4	93 34.2	0 0.0	80 29.4	0 0.0

No.	設問文	平均	回答者数／構成比（％）					有効 回答	無効 回答
			5	4	3	2	1		
			とても そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない		

▼全学部共通の質問項目

1	学修環境（プロジェクタ・音響・空調・照明・静粛性）は良好であった	4.55	168 62.0	88 32.5	11 4.1	4 1.5	0 0.0	271	1
2	クラスサイズ（受講者数）やグループサイズは適切であった	4.59	183 67.3	71 26.1	14 5.1	3 1.1	1 0.4	272	0
3	周りの学生の熱意が感じられた（熱心に授業に参加していた）	4.26	123 45.2	111 40.8	26 9.6	11 4.0	1 0.4	272	0

▼学部レベルの質問項目

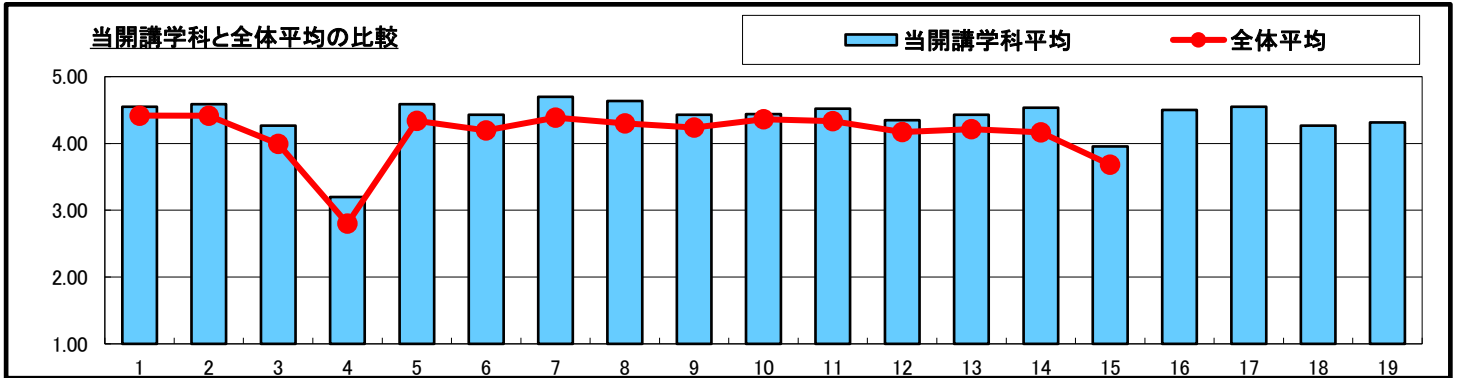
4	この授業に対する授業時間外学修にどの程度の時間を費やしましたか（1回の授業の前後）	3.20	2時間以上 39 14.4	1時間以上 2時間未満 63 23.3	30分以上 1時間未満 96 35.6	30分未満 56 20.7	全くして いない 16 5.9	270	2
5	シラバスに則した内容の授業が行われていた	4.59	175 64.8	80 29.6	14 5.2	1 0.4	0 0.0	270	2
6	この科目の難易度は適切であった	4.43	158 58.1	81 29.8	25 9.2	8 2.9	0 0.0	272	0
7	この科目は学部・学科の学びを深める上で有益であった	4.70	204 75.0	57 21.0	9 3.3	1 0.4	1 0.4	272	0
8	この科目は自らのキャリア形成や将来を考える上で役立った	4.64	186 68.4	75 27.6	10 3.7	0 0.0	1 0.4	272	0
9	【対面授業の場合】 この科目は対面で受講することが適切であった 【ポータルサイト等を活用した授業（オンライン授業）の場合】 この科目はオンラインで受講することが適切であった	4.43	172 63.9	59 21.9	26 9.7	5 1.9	7 2.6	269	3

▼教員個人レベルの質問項目

10	教員の話し方は明瞭で聴き取りやすかった	4.44	156 57.4	88 32.4	20 7.4	7 2.6	1 0.4	272	0
11	板書、スライド、配布資料などは適切であった	4.52	171 62.9	79 29.0	16 5.9	5 1.8	1 0.4	272	0
12	学生に質問や意見を求める、発表の機会を設けるなど授業への参加を促していた	4.35	144 53.1	88 32.5	29 10.7	9 3.3	1 0.4	271	1
13	学生の反応や理解を確認しながら授業を展開していた	4.43	149 55.0	96 35.4	20 7.4	6 2.2	0 0.0	271	1
14	必要に応じて学生の受講態度への注意を適切に行っていた	4.53	175 64.3	72 26.5	22 8.1	1 0.4	2 0.7	272	0
15	この授業のシラバスを読みましたか	3.96	十分に 読んだ 97 35.8	よく読んだ 94 34.7	どちらとも いえない 55 20.3	ほとんど 読まなかった 21 7.7	全く読んで いない 4 1.5	271	1

▼学科設問

16	自分から主体的に学べましたか	4.50	156 57.6	98 36.2	15 5.5	1 0.4	1 0.4	271	1
17	この科目に対して関心が高まりましたか	4.55	166 61.0	91 33.5	14 5.1	1 0.4	0 0.0	272	0
18	この科目の内容をDP（ディプロマポリシー）と関連づけて学ぶ事ができましたか	4.27	123 45.4	102 37.6	41 15.1	5 1.8	0 0.0	271	1
19	この科目の内容や到達状況を学年到達目標と関連付ける事ができましたか	4.31	129 47.4	107 39.3	30 11.0	4 1.5	2 0.7	272	0



2024 年度後期授業アンケート 学科別集計結果表に対する講評

学科／課程	看護学科
講評者	看護学科長 白石葉子

設問	講評
設問 1～3 「全学部共通の質問項目」について	「学修環境（プロジェクタ・音響・空調・照明・静粛性）は良好であった」、「グループサイズ（受講者数）やグループサイズは適切であった」については、「とてもそう思う」、「ややそう思う」と回答した学生が約 9 割以上であることより、学科教員は学生が学習しやすい環境に調整することができていると考えられる。
設問 4～9 「学部レベルの質問項目」について	看護学科の科目は、看護師の資格取得を目指す学生にとって「学びを深める上で有益」であり、「自らのキャリア形成や将来を考えるうえで役に立つ科目」であることは、ほとんどの学生が理解しているが、授業に対する授業時間外学修が、30 分未満が 20.7%であり、全くしていない学生も 5.9%いた。教員は、シラバスに則した授業を行う中で、学生が授業に対し興味関心を持ち、自主的に時間外学修に取り組むような工夫をしていく必要があると考える。
設問 10～15 「教員個人レベルの質問項目」について	「教員の話し方」や「スライド・配布資料など」に関しては、「とてもそう思う」で「ややそう思う」と合わせて約 9 割であり、学科教員は学生に分かり易い伝え方や教材の工夫ができていたと考える。また、「学生への授業への参加の促し」「学生の反応の確認」「必要に応じた受講態度の注意」に関しても、約 9 割が「とてもそう思う」「ややそう思う」と回答しており、教員は学生の反応を見ながら授業を行っていたと考えられる。学生が授業前にシラバスを読むように促しが必要である。
設問 16～ 「学科設問」について（該当学科のみ）	9 割以上の学生が「自分から主体的に学び」、受講することで「科目に対して関心が高まっていた」という良い結果であった。全項目の「15. この授業のシラバスを読みましたか」の質問に対し、「十分読んだ」「よく読んだ」学生は合わせて約 7 割にとどまっていたこともあり、「科目」と「DP」や「学年到達目標」を関連付けて学ぶことに「とてもそう思う」「ややそう思う」と合わせて 8 割台であった。「科目」と「DP」や「学年到達目標」を関連付けられるように、授業内での説明等が必要である。